



子どもの心を受け止めるNW(ネットワーク)みえ 2005年度「子どもの心を受け止める24時間フリーダイヤル相談電話」試行 受け手養成のための講習会

現在、NPOからの協働事業提案「行政と民間(NPO)との協働でつくる『子どもの心を受け止める24時間フリーダイヤル相談電話(子ども専用電話)』設立に向けての段階的アプローチ」に取り組んでいます。2004年度は2005年1月15日PM6:00~1月16日PM6:00、さらに2005年度には子どもの日前後6日間及び8月以降週1回程度の試行を計画しています。この試行及びその後控えている本格実施(24時間フリーダイヤル)に向けて受け手を養成していきます。講習会の方針としては、子どもの権利条約の子ども観を基本とし、子どもも大人も社会のパートナーとして常に子どもをとりまく状況をとらえ、受け手・支え手にとって必要な価値観・スキルひいては生き方を講習を通して学び合います。

【プログラム】

2月11日(祝・金)	AM10:00~正午	「子どもの心を受け止める子ども専用電話とは」
	PM1:00~PM4:00	「子どもの権利条約とは(子ども観)」
2月20日(日)	PM1:00~PM4:00	「身体を使って関係を結ぶ ワークショップ」
2月27日(日)	PM1:00~PM4:00	「性と自立」(予定)
3月6日(日)	AM10:00~正午	「電話を受ける 講義」
	PM1:00~PM4:00	「電話を受ける ロールプレイ」

- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター(アスト津3階)
- 参加費/大人3000円 ユース(中学生~25才)1500円 1プログラムのみ 800円
- 申込・問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1 特定非営利活動法人MIEチャイルドラインセンター Tel.&Fax.059-232-8172 E-mail mie-childline@za.ztv.ne.jp

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にユースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917 町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/伊賀市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「寸庵」」(松阪市本町2217)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/宮崎歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 14 岡嶋多華夫

第2回MPドリーム助成金授与式

昨年12月3日、三重県遊技業福祉連合会より第2回MPドリーム助成金の授与式があり、県内のNPO・ボランティア団体に対して1,300万円もの助成が行われました。

当日はいくつかの団体から活動内容が報告されました。「話すのは苦手で」と言う人も、自らの活動を語り始めると止まらない様子で、会場内はイキイキとした雰囲気にもまれ、この場から、力がわき起こっていることを実感しました。最後に、NPO法人三重にフリースクールを作る会の石山代表から恒例になった手作りの額が山下理事長に手渡されました。

企業は事業活動を通じて、商品やサービスを提供し、地域に雇用を生み出すという役割を担っています。近頃では、環境保全や個人情報保護への対応といった企業の社会的責任、いわゆるCSRということが問われる時代になってきました。また、社員のボランティア活動への参加やNPO等への支援についても求められてきています。こうした中、2003年度に引き続き、三重県遊技業福祉連合会が行っているこの助成制度は、まさにこれからの社会のありようを先取りするもので、先駆的な仕組みと言えるでしょう。

※報告団体…NPO法人三重にフリースクールを作る会/熊野ベースボールフェスタ実行委員会/みえ市民活動ネットワーク/名張学生の会/鳥羽・長尾オルガン協会/秘密基地研究会/NPO法人MIEチャイルドラインセンター/浜島町まちづくりグループ「WITH AIBE」

ボランティアコーディネーターってなんだ?? (最終回) 野村希代

私がボランティアコーディネーターになってから、4年半以上が経ちました。ボランティアに関してはまったくの素人だった私も、仕事の中でボランティアに対するいろいろな価値観を持った人と出会い、自分なりにコーディネーターの基本を考えてみました。

身近に行われているボランティア活動は、昔ながらの助け合いの精神から生まれているもの、自分自身のためだからと楽しんでやっているもの、社会を変えよう!と組織化して取り組んでいるものなどさまざまです。中には、学校単位で取り組むボランティア学習など、関わる人すべてにボランティア活動の基本と言われる「自発性」があるとは言えないものもあります。そうした多様な価値観の中で、コーディネーターが行う基本は「聞き、引き出し、つなぎ、振り返る」ことだと思っています。

まずは、相手が何を求めているかをよく聞く。そしてその人の思いや可能性を引き出し、それを生かせるような場所・人につなぐ。最後にその結果がどうだったか振り返る。もちろん、それ以外にもやるべきことはたくさんありますが、その一連の流れを繰り返すことでコーディネートができるのではないのでしょうか。

偉そうに書いていますが、私にいつもそれができていたわけではありません。反省の意味も込めて「振り返り」をしています。というのも、実はこの連載は今回が最後なのです。今までご愛読いただいた皆様、本当にありがとうございました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
 特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置いております。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 (1)日本徒手空拳道連盟 優真会(2)古川尚樹(3)四日市市新正五丁目4番37号/(1)a trio(2)山口友美(3)鈴鹿市玉垣町7023番地/(1)市民社会研究所(2)松井真理子(3)四日市市萱生町1200番地 四日市大学内
 (平成16年11月8日~平成16年12月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 南紀会(16年9月1日)/特定非営利活動法人 MMC 卒業臨床研修センター(16年9月17日)/特定非営利活動法人 特別支援教育サポートセンター(16年9月30日)/特定非営利活動法人 三重県調査業協会(16年9月29日)/特定非営利活動法人 NPO法人三重県セキュリティ協会(16年10月6日)/特定非営利活動法人 いなべをよくしよう(16年10月20日)/特定非営利活動法人 食品安全・安心総合的品質支援協議会(16年11月10日)/特定非営利活動法人 三重起業就職支援センター(16年10月26日)/特定非営利活動法人 四日市郷土文化財保存会(16年11月4日)/特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会(16年10月26日)/特定非営利活動法人 ここの花(16年11月19日)
 (平成16年11月8日~平成16年12月14日届出)

イベントスケジュール

史上最強の『十代の作家による競作展』

- とき/1月5日(水)~9日(日)AM9:30~PM5:00 最終日のみPM4:00終了
- ところ/県立美術館県民ギャラリー ●入場料/無料
- 内容/十代作家の会は2003年10月に「自分たちの作品を、批評を求めて同志と発表する」という目的で、県内で絵画制作に勤む二人の高校生(当時)によって結成されました。今回は油絵を中心に30点ほどの作品が展示されます。
- 問い合わせ先/志摩市阿児町甲賀2288-2 十代作家の会(代表:石山浩達)

市民発・ごみを減らすアクションキャンペーン 第1回 だれにでもできるごみゼロアクション ~市民と行政の協働で始めよう!~

- とき/1月10日(祝・月)PM2:00~PM4:30
- ところ/くわなメディアライブ(市立中央図書館)1階多目的ホール
- 参加費/300円(資料代) ●募集人数/80人(託児有)
- 内容/RDF化施設が再稼働されました。私たちはますますごみ問題に関心を持ち、ごみ減量に取り組んでいかなければならない状況にあります。講師の崎田裕子さんはジャーナリストとして、また環境カウンセラーやいくつかのNPO法人の理事として全国的に活躍されているとても素敵な仲間です。
- 応募締切/1月6日(木)要事前申込
- 主催・申込・問い合わせ先/511-8567 桑名市中央町5-71 北勢県民局企画調整部桑名総務室 ごみを減らすアクションキャンペーン企画会議事務局 Tel.0594-24-3600 Fax.0594-24-3795 E-mail wkikaku@pref.mie.jp

当事者が語る・当事者と語る『心配しないで不登校』

- とき/1月10日(祝・月)PM1:00開場~PM4:00
- ところ/アスト津4階ホール ●参加費/無料
- 内容/講師の渡邊史さんは、小学校で不登校になり、その後フリースクールの東京シュールに入会し、世界フリースクール大会の実行委員長として活動。2001年にはNPO法人フリースクール全国ネットワークを立ち上げました。渡邊さんとわが子は違うと思うかも

しませんが、「成長する力がある」とこと「不登校になった(不登校を生活している)」という点において全く同じ子どもです。不登校の当事者であった渡邊さんのお話を聞くことで、子どもに対する信頼と希望を見いだすことができると考えています。なお、全体終了後、渡邊さんとフリースクールの子もたち、希望者との懇談会があります。当日申込を受け付けますので、お気軽にご参加ください。

- 申込方法/当日参加も可能ですが、できるだけ事前に電話、Fax、E-mailのいずれかで予約を。
- 申込・問い合わせ先/津市広明町328津ビル NPO法人三重にフリースクールを作る会(協働団体) Tel.&Fax.059-213-1115・1116 E-mail npo@mienoko.com (冬休み中の連絡先:外川 Tel.059-233-3300 川口Tel.059-231-1885)
- 主催/県教育委員会

第④回縁が輪(えんがわ)サロン

- とき/1月19日(水)PM1:30受付 PM2:00~PM4:00
- ところ/津市民活動センター2階 会議室1
- 参加費/300円(お茶・お菓子付) ●募集人数/20人程度
- 内容/「アイパトナー」理事長の前川賢一さんを迎え「視覚障害者リハビリ(生活訓練)発信の形なきユニバーサルデザイン!~目に頼れない時の防災に活かせるかも~」を開催。活動を始めたきっかけや広がった出会いの輪などのお話のほか、参加者全員アイマスクをして、伝い歩きや、お茶お菓子を食べる体験も行います。夜間の地震で停電してしまった場合など、真っ暗な中でも落ち着いて行動するための参考にもなるのではないのでしょうか?
- 申込方法/氏名、住所、電話番号を明記の上、Fax、E-mailなどで下記まで。
- 主催・申込・問い合わせ先/センターパレス3階 津市民活動センター Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

テクノカレッジ第8回なるほど・なっとくセミナー「環境問題とエネルギー利用のこれから」

- とき/1月22日(土)PM1:30~PM3:30
- ところ/アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
- 参加費/入場無料、予約不要
- 内容/県科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究内容や科学技術について、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今回のテーマは次の3つです。(1)期待される水素エネルギー社会(2)「京都議定書」を知っておこう~森林が果たすべき役割~(3)燃料化をめざす!食品廃棄物のガス化利用
- 申込・問い合わせ先/四日市市桜町3690-1 鈴鹿山麓研究学園都市センター内 県科学技術振興センター総合研究企画部 研究企画グループ Tel.0593-29-3620(当日 Tel.090-7954-2664) Fax.0593-29-8017 ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/topics/16tc.htm>



おもちゃ診療所

- とき/1月22日(土)PM2:00~PM4:00
- ところ/みんなの居場所きらり
- 参加費/居場所利用料300円+部品代
- 内容/壊れてしまった大切なおもちゃを直してもらいませんか? おもちゃ診療所は奇数月の第4土曜日に常時開催しています。
- 問い合わせ先/四日市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670(開局日:月~土曜AM10:00~PM5:00 水曜を除く) E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp



津市民活動センター 平成16年度セミナー

- 「めざせ!いきいきした団体づくり 元気な組織になるためのリーダーの役割~人のマネジメントを中心に~」
- とき/1月22日(土)PM1:00~PM5:00
 - ところ/津市民活動センター会議室1 ●参加費/1000円(同団体から複数参加の場合、2人目からは500円)
 - 内容/「人」を集め、まとめ、育て、いきいきした魅力ある団体をつくるリーダーの役割について、「組織から人のマネジメントの問題を考える」および「人が定着し、成長するためのポイントを考える」の2

種類のワークショップを行います。講師はボランティアネイバース事務局長の三島知斗世さんです。
●募集人数/30人(先着順) ●応募締切/1月21日(金)
●申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市民活動センター(担当:岡田・谷垣・浜口)
Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201
E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp
ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

映画『エイブル2 ホストタウン』上映会

●とき/1月23日(日)
【1部】『ホストタウン』AM10:00~AM11:40
【2部】『ホストタウン』PM1:00~PM2:40
【3部】『エイブル1』PM4:00~PM5:40
【4部】『ホストタウン』PM7:00~PM8:40
●ところ/三重県総合文化センター フレンテみえ多目的ホール
●参加費/一般(障害者の付添も含む)1000円
子ども(小~高校生)・障害者500円
※託児は各部先着10人 一人1000円
●内容/スペシャルオリンピックスとは、知的発達障害のある人々の自立と社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムとその成果の発表の場である競技会をボランティアにより提供する非営利のスポーツ組織です。2003年6月にはアイルランドの首都ダブリンで、夏期世界大会が開催されました。『エイブル2 ホストタウン』はその大会で日本のアスリートたちを迎える「ホストタウン」になったダブリン郊外の小さな町ニューブリッジを舞台に、そこで暮らす知的障害を伴うダウン症の少女、エイミーの姿を追います。なお、2部と3部の映画上映後、『エイブル1』に出演した渡辺元くんのお母さん、ジュンさんの講演会があります。
●申込方法/「名前、住所、電話、参加したい部と枚数」を明記したFaxを申込先へ送付した後、口座に代金を振込んでください。入金確認後、チケットを郵送します。
口座名称「片山優子」 郵便振替口座番号「00880-7-64402」
●申込先/片山優子 Tel.&Fax.0593-46-9801
●問い合わせ先/「ホストタウン」を観る会三重(上映会責任者:安藤幸子) Tel.&Fax.0593-94-5836

NPOバリアフリースタジオ「同夢」

いがUD(ユニバーサルデザイン)研究会第1回UD講座

●とき/1月29日(土) PM1:30~PM4:30
●ところ/伊賀市いがまち保健福祉センター 愛の里
●内容/UDについてのスキルアップと情報交換の場。どなたでも参加できます。第1回の講師は身体障害者総合福祉センターの白山靖彦さんです。

三重県e-デモ会議室に新テーマの会議室を開設

「伊賀発・すべての人にやさしい歩行エリア」安全に安心して移動できるまちづくりへのご意見をお待ちしています。高齢者、障害をもっている人、子ども、外国人など誰にとっても、あたりまえであり、違和感のない環境作りがめざすべきユニバーサルデザイン社会ではないでしょうか。「歩道」を通して、自分たちのまちはどうあるべきなのか。自分たちでできることは何なのか。すべての人が自由に社会参加できるまちづくりを一緒に考える「会議室」です。
http://www.e-demo.pref.mie.jp/map/index.php?con_no=72
●申込・問い合わせ先/NPOバリアフリースタジオ「同夢」(孫 美知) Tel.&Fax.0595-23-9513
E-mail son@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.doumu.net>

カウンセリング実践研修会

●とき・ところ/いずれもAM10:00~PM4:00
1月30日(日) 三重県総合文化センターフレンテみえセミナー室A
2月27日(日) 伊勢市観光文化会館大会議室
●参加費/一般3000円 会員2500円
●内容/「相手の気持ちを受け止める」ための「聴き方」を学ぶワークショップです。教育福祉医療の現場で生かせる、暮らしに役立つカウンセリングの対応を体験的に学びます。講師はみえ親子・人間関係研究会理事長の河合卓子さんです。
●募集人数/各30人 ●応募締切/1月15日(土)
●申込・問い合わせ先/514-0834 津市大倉13-19アコギビル
NPO法人みえ親子・人間関係研究会 Tel.&Fax.059-246-

5562 携帯Tel.090-7047-2525(河合)

まちのファンクラブ1月交流会「新春!環境談義in多度」

●とき/1月30日(日) AM10:00~PM1:00
●ところ/多度区集会所(桑名市多度町多度字谷奥508)
●参加費/500円(軽食付)
●内容/恒例の「新春!多度談義」。今年は、私たちのふるさと、桑名・いなべの「環境」をテーマに、思う存分語り合ってください。生活者の立場から、普段感じている疑問を投げかけてみましょう。いろんな環境保全活動をされている方や専門家の方から、耳寄りな情報が引き出せるかも!それとも、主婦の知恵の勝利!?おしゃべりが中心の、井戸端談義です。どうぞ、お気軽におでかけください。
●問い合わせ先/511-0089 桑名市田町33 桑員環境サミット(仮称)準備会事務局 Tel.0594-27-2700 (受付PM1:00~PM3:00)
ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/kankyosummit>

Shall we Design?-デザインしませんか?-

デザイン編集力UP&団体活動支援講座

●とき・テーマ/【講座1】1月31日(月) PM1:30~PM4:30
「共鳴する広報戦略」講師:篠原史紀... (有)地球デザイン代表取締役
【講座2】2月7日(月) PM1:30~PM4:30
「伝わるデザイン」講師:森本かおり... 森本オフィス代表
【講座3】2月14日(月) PM1:30~PM4:30
「あなたもなれる!市民ライター」講師:井上淳之典... いなべ子ども活動支援センター事務局長
【実践!実在の団体チラシを作ってみよう!】2月21日(月) PM1:30~PM4:30 制作期間約1ヶ月間。グループワーク、企画編集作業。
【チラシコンテスト】3月20日(日) PM5:00~PM7:00 各チームの発表会です。
●ところ/【講座1~3】みえ市民活動ボランティアセンター ミーティングルーム3,4 【実践】アスト津4階アストプラザ研修室A
【コンテスト】みえ市民活動ボランティアセンター交流スペース
●参加費/【講座1~3】各1000円 【実践】500円
●内容/この講座は(1)NPOに「広報」の重要性を認識して(2)NPOの「広報力」を担う市民を発掘して、(3)「市民力」を共に育む、ということを目的としています。NPOのみならず、広報は団体事業そのものです。これを機に自分たちの団体をPRしてみませんか?
●問い合わせ先/クリエイティブデザインみえ
Tel.050-700-0575(平日PM7:00~PM10:00 担当:岡嶋)
E-mail creative_mie@yahoo.co.jp

人形芝居ひつじのキャンピー「キナコちゃんどダンズ!!」

●とき・ところ/2月5日(土) PM2:00, PM5:00
ときわ文化センター(メリーゴーランド3階)
2月6日(日) AM11:00 ときわ文化センター
2月6日(日) PM4:00 あさけプラザ
●参加費/前売2000円 当日2500円 保育1500円
●内容/人間といろんな違いの方の人形で、キナコちゃんとお父さんの一日を、朝・昼・夜、それぞれ違うスタイルの人形芝居にして贈ります。
●主催・申込・問い合わせ先/【5日】体験ひろば☆子どもスペース 四日市 Tel.0593-21-0883 【6日午前】四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670
【6日午後】子育て広場:ドロッピン Tel.0593-63-3728

彩りサロン

●とき/2月7日(月) PM1:00~PM3:30
●ところ/津市民活動センター(津センターパレス3階)
●参加費/会員400円 一般500円
●内容/彩りサロンの新年は、福を呼ぶお面づくりから始まります。玄関や部屋の壁に飾る、素敵なお多福さんのお面をつくってみませんか?つくり終えた後は、お茶で一服。賑やかに作品を鑑賞しましょう。
●募集人数/先着30人 ●申込方法/下記までハガキで。
●申込先/514-0831 津市本町28-21 菅野照代

日本語サポーター研修

●とき/2月11日(祝・金)、12日(土)
●ところ/アスト津3・4階
●参加費/1クラス500円前後の予定



●内容/日本語指導能力をUP!3つのタイプ、10以上のクラスの中から、あなたのニーズに合わせて選択参加ができます。対象は外国人に日本語を教えているボランティア・教職員です。
 【タイプA】教案作成方法や教授技能を学ぶ「異文化コミュニケーション積み上げ型学習の指導法」講師はAJALT梶川明子さんほか。
 【タイプB】実用的知識を学ぶ「副教材の使い方」講師はスリーエーネットワーク 田中よねさんほか。
 【タイプC】自分の知識と技能を見極める「自己診断してみよう」
 ●募集人数/各講座30人 ●応募開始日/1月5日(水) 先着順
 ●申込・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 MIEF(担当:伊藤) Tel.059-223-5006 E-mail mief@mief.or.jp ホームページ http://www.mief.or.jp

れんげの里ヘルパー講習会

自閉症児者への支援のあり方を学ぶ

●とき/2月13日(日)AM9:30受付 AM10:00~PM5:00頃
 ●ところ/れんげの里管理棟2階会議室
 ●参加費/1000円(弁当、資料代) ●募集人数/先着40人
 ●内容/知的障害者更正施設れんげの里は、自閉症児の親たちが中心となって、「自閉症という障害を持った人たちが今の生活を護りつつ、各自が望む街で働き暮らすことができる社会をつくるための拠点」となるよう開設しました。平成16年度に導入された支援費制度によって、ホームヘルパーを利用した地域での新しい暮らしづくりが始まりましたが、この制度を積極的に運用することによって、地域の自閉症者を受け止める力が増し、彼らが地域で望むように暮らす可能性が大きく広がっていくことを期待しています。そこで、自閉症者を直接支援するホームヘルパーさんに、より深く自閉症のことを知っていただき、地域での彼らの暮らしを支える大きな力になっていただくことを願い、講習会を開催します。自閉症者はコミュニケーションが苦手で、彼らの状況をつかむうえで多くの困難性を抱えています。その困難性を理解し、生きにくさを和らげ、豊かな暮らしを創造するための仕組みが必須の課題です。
 ●申込・問い合わせ先/519-2703 度会郡大宮町滝原1195-1 社会福祉法人おおすぎ 知的障害者更正施設 れんげの里 Tel.0598-86-3911 Fax.0598-86-3322 E-mail rensan@ma.mctv.ne.jp

ネットワークのよびかけ

【県生活部国際室より】

国際貢献フェスタinみえ2005コアメンバーの募集

国際貢献や国際協力ボランティアについての関心や理解を高めていただくことを目的に、平成17年6月、津市のアスト津において、実行委員会形式により、国際貢献フェスタinみえ2005を開催する予定です。今回、企画づくりと運営に参画いただける方を2人、募集します。条件などの詳細はホームページをご覧ください。また、2月上旬に第1回目の会議を行う予定です。

●応募締切/1月20日(木) 必着

国際貢献実践講座(タイへのスタディツアーと講座)参加者の募集

県民の方に海外の国際貢献の活動現場を直接体験いただき、国際貢献や国際協力ボランティアについての理解や関心を一層深めていただくことを目的に、タイへのスタディツアーと、出発前と帰国後の講座を開催します。スタディツアーは、タイの山岳少数民族支援現場やJICAボランティアの活動現場の視察、ボランティア活動などを予定。講座はスタディツアーの事前学習と、事後の振り返り学習を予定しています。詳細はホームページを参照。

●とき・ところ/【スタディツアー】3月6日(日)~3月13日(日)の7泊8日 タイ(バンコク、カンチャナブリ、ファーン、チェンライ、メーサイ) 【講座】事前講座2月19日(土)、26日(土) 事後講座3月19日(土)、20日(日) アスト津3Fイベント情報コーナー

●応募対象/心身ともに健康な高校生以上で、県内に在住、通学、通勤する方。

●募集人数/【スタディツアー】10人 【講座】20人(ツアー参加者含む)

●申込・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 生活部国際室 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp ホームページ www.pref.mie.jp/kokusai/hp

ガソリンスタンドは防災・防犯ステーション 『防災・防犯SOS』事業のご案内



三重県石油商業組合に加盟するガソリンスタンドでは、「もしも」の時に頼りになります「ガソリンスタンド」をキャッチフレーズに、平成13年から地域貢献事業を実施してきましたが、今年度から大規模地震に備え『災害時帰宅支援ステーション』事業を開始しました。これは災害発生時の帰宅困難者に向けて、ガソリンスタンドで情報やトイレ、水道水を提供するというものです。また従来から実施している、犯罪に遭いそうになった時の避難所活動と並行して実施していきます。「災害が発生した」「犯罪に遭いそうになった」「迷子になった」「ケガをした」など、市民のみなさんが突然のハプニングに遭遇した時は、三重県石油商業組合加盟ガソリンスタンドを避難所として活用ください。左のカンガルーマークが目印です。

●問い合わせ先/三重県石油商業組合
 http://www.mie-sekiyu.or.jp/

「津市ファミリー・サポート・センター」2月開設に向けて

「ファミリー・サポート・センター」とは、子育て中のご家庭に、ちょっと助けてほしいとき忙しいママに代わってお子様をお預かりする安心のサポートシステムです。

津市が2月より行なう「津市ファミリー・サポート・センター」を津子どもNPOセンターが委託を受ける事が決定しました。子育て中の育児援助を受けたい人(依頼会員)・援助をしたい人(提供会員)を組織し、地域における子育てを支援する相互援助の会員組織(有償ボランティア)です。依頼会員・提供会員ともに募集しております。なお、2月よりの稼働を目指して提供会員の講習会を1月に開催いたします。ふるってご参加ください。

【講習会】

●とき/1月23日(日)、29日(土) ●参加費/無料

●ところ/【第1、2、4回】津市中央公民館3階ホール

【第3回】津市図書館2階視聴覚室

●内容/【第1回】23日AM10:00~ 「オリエンテーション」講師:津子どもNPOセンター理事長 飯田美知子、23日AM10:30~PM12:30「コミュニケーションワーク」講師:青少年アドバイザー、いなべクレイション協会会長 木下裕美子

【第2回】23日PM1:30~PM3:30「子どもの心とからだの発達」講師:高田短期大学教授 豊田和子

【第3回】29日AM10:00~正午「子どもの心に寄り添う保育」

講師:市内保育園園長

【第4回】29日PM1:30~PM3:30「子どもの安全と事故・救急法」講師:日本赤十字センター

●申込・問い合わせ先/津子どもNPOセンター

Tel.&Fax.059-231-0012 E-mail kodomo@za.ztv.ne.jp

構造改革特区・地域再生計画の説明会

「法令などの規制のせいで思うような活動ができない」という方、特区と地域再生という制度を利用してみませんか?県内数カ所で説明会をしますので、ぜひご出席ください。どの会場とも、内容は同じです。

●とき・ところ/いずれもPM1:00~PM3:00 PM7:00~PM9:00 二部制

1月31日(月)北勢県民局(41会議室)

2月2日(水)松阪地方県民局(33会議室)

2月4日(金)吉田山会館(206会議室)

2月9日(水)紀北県民局(大会議室)※AM10:00~正午のみ

2月9日(水)紀南県民局(大会議室B)※PM3:00~PM5:00のみ

●申込・問い合わせ先/県総合企画局政策推進室(担当:八太(はった)・服部) Tel.059-224-2062

E-mail seisaku@pref.mie.jp

助成金 ニュース

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成
 (コミュニケーション/世論)

●受付締切/1月15日(土)

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国

人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動／コミュニケーション／世論：日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換する機会を提供するもの。

●応募方法／直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先／米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2

霊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ <http://www.us-jf.org>

明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化分野保存維持費用助成

●受付締切／1月31日(月)消印有効

●助成の目的／わが国において、古来地域に伝承されてきた民族の遺産とも言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下同じ)・伝統的生活技術(民具製作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)等を正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えに立って、当財団は、これらの継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要な技能修得のための諸活動への支援を行います。

●助成の対象／(1)「地域の民俗芸能」、(2)「伝統的生活技術」。それぞれの継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

●助成の額／「民俗芸能」は1件につき70万円を、「伝統的生活技術」は1件につき40万円を、それぞれ限度とし、申込内容を検討の上、具体的な助成金額を決定します。

●応募方法／申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課のコメント捺印を受けてください。書類は原則として郵送。できる限り、簡易書留便で送付。申込書はホームページからダウンロードするか、A4版サイズの用紙が入る封筒に140円切手を貼付の上、下記まで請求。

●問い合わせ先／(財)明治安田クオリティオブライフ文化財団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビル Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388

ホームページ <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクセスサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>



桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

511-0068 桑名市桑名市田町33 Tel.0594-27-2700

E-mail miekita@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑員まちのかわら版—市民がつくった発信のしくみ

桑員まちのかわら版という情報紙を毎月一回15日前後に発行して、今回で20号目になりました。輪転機で刷ったB5版14頁の市民活動の情報紙です。最低3000部、多いときは5000部を、桑名員弁地域内の100カ所以上のところでおいてもらってます。発行の時期になるとみんなで折り込んであちこちに届けます。インターネットでも公開していて、みえきた市民活動センターのホームページを見てもらうとひとつひとつの記事を見ることが出来ますよ。

平均して一回に25本ぐらいの市民活動団体の事業案内・情報を掲載しています。

その他に、「今月のトピックス」では地域の市民活動団体やその事業の報告を特集しています。連載ものは4本、「直撃! まちかど博物館Report」、エンパワメントみえの志治優美さんの「しっぼや」、郷土歴史家西羽晃さんの郷土の歴史文化記事、環境に取り組んでいる地域の団体を紹介する「こんにちは 桑員エコリーグです」など。それと、「ちょっと耳より知っ得情報」、「がんばれ!市民活動団体紹介」、「助成金情報」、「メンバー募集」、「かわら版NEWS」、「まちのファンクラブ情報」などを満載

しています。これを20号、けっこうしんどい作業でした。みえきた市民活動センターが中心になり、まちのファンクラブのメンバーや多くの市民活動に関心のある人たちの協力で、この地域で発行しています。お金もないのによくやるなあと自分たちでもあきれていますけれど、不思議となんとか続くものですね。

これまでトップ記事で紹介してきた事業や団体はこんな感じでした。

☆"くわなワンディウォーク ☆"藤原無農業栽培米クラブ ☆"桑名の千羽鶴を広める会 ☆"農村女性ネットワーク たべごろ桑員支部 ☆"たんぼの楽考 ☆"員弁川自然史の会☆"桑名防災支援ネット ☆"みえきた市民活動センター ☆"自助具工房くわな ☆"ガールスカウト ☆"学童保育所 ☆"甘藍クラブ ☆"特定非営利活動法人ITサポート三重北 ☆"ワークス・スクラム ☆"桑員まちかど博物館 ☆"川原白滝棚田保存会 ☆"屋根のない学校 ☆" AFC (アクティブファーマーズクラブ) ☆" まちのファンクラブ。

でも、この地域で活躍している市民活動団体を全部紹介しようとしたら、きっと100年たってもできないのでしょうね。これからのこのまちでは、市民活動団体は毎年12以上できてくるときとしますから。市民活動のひとつもやっていないと格好つかない時代なのかもしれませんね。

鈴鹿市

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう (代表理事:井田輝門)

鈴鹿市白子駅前18-15 Tel.&Fax.0593-87-0767

すずかのぶどう賛助団体の活動を2件、お知らせします。

どちらも継続する事が大事な活動だと思います。御協力・ご参加をお願い致します。

【デポジット】トライアル

11月13~14日の2日間、鈴鹿市文化会館を会場として「第14回生涯学習フェア」が開催され、会場前広場でも「フリーマーケット」、「子ども昔あそび」、「各種物販」などで賑わいました。この中に、晩秋という季節をねらって「ぜんざい販売」コーナーがあり(「結の会」企画)、これに「環境活動グループ:地球クラブ」で賛助参加しました。参加の目的は、残念ながらまだ耳新しい「デポジット制度」を市民のみなさんに体験を通して知っていただくこと、ぜんざいが入ったお椀を再利用(リユース)することへの協力を呼びかけるものでした。

「結の会」のみなさんが作られた、焼きたてのお餅が入った美味しいぜんざいを300円で食べていただき、その容器であるお椀をデポジットコーナーへ返却してもらうと、50円が返却されるという

仕組みを作り、「容器受け取りと50円払い戻し」の窓口を担当しました。つまり、ぜんざい代金には50円の容器代が含まれていて、利用者が返すことによって容器代が戻されるという意味を理解してもらい、「容器再利用(リユース)の重要性」を訴える役割を担いました。2日間で、デポジット対象として予定した300杯のぜんざいが完売される中で、展示パネルとチラシによる「デポジットのPR活動」を、メンバー7人で分担して終えました。

環境問題に詳しいみなさんはご存知の方が多いでしょうが、ドイツ、デンマークなどを中心とする欧州では、ゴミ減量と資源有効利用の観点から、びんやペットボトルを再利用する仕組みが早くから進められ、回収率が95%を超えるほどの定着をみせていると言われます。

今回に類した試みが各種イベント会場等で広がりを見せ始めると聞き、さらに進んだ形態、内容での「デポジット制度PR」を目指したいと考えています。

(文責 地球クラブ世話人 西田 達弘)

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。みえ環境県民運動協議会・三重環境県民会議という二つのグループで活動している小川宏樹さんからバトンが渡ったのは、嬉野町の宇留田敬子さん。地域での自主的なボランティアを育てています。

自主的に参加する日赤地域奉仕団

……宇留田さんが代表をされている日赤地域奉仕団やまゆり会のことを教えてください。

結成したのは平成9年5月。会員だけでなく、嬉野町長さんや町会議員さんにも参加いただき、盛大に結団式を行いました。嬉野町の花は、やまゆりですので、やまゆり会と名付けました。

……それ以前の活動を教えてください。

ずっと婦人会活動を行っていました。嬉野町の婦人会会長だけでなく、一志郡の代表も務めさせていただきました。その嬉野町婦人会の活動を平成9年に休止し、日赤地域奉仕団の活動をスタートさせました。

……婦人会と日赤地域奉仕団は関わりがあるのですか？

国民婦人会という全国レベルの組織があるのですが、婦人会と日赤地域奉仕団は共にその組織に加わっていて、いわば活動の両輪のようになっているのです。

……なぜ、婦人会の活動を休止したのでしょうか？

婦人会というのは、その地域に住んでいる女性で、一定の年齢の方は全て参加することになっている半強制的な組織です。戦後から長く続いている組織ですが、最近ではお勤めに出る方も多く、婦人会の活動が、仕事に影響したり、個人の時間を圧迫したりするという意見が、若い方々から出ることが増えていました。一方の日赤地域奉仕団は、希望者だけが参加する自主的な集まりだというのが大きな違いです。

……婦人会はボランティア的な意味が弱いのですか？

自ら進んでというよりも、役場などからの依頼を受けて、お手伝いしていると、受け取る方が多いですね。でも、婦人会というのは歴史もある、大きな組織です。私だけでなく、歴代の会長さんたちが頑張ってきてきた組織ですから、私の代で終わらせるなんてもってのほかだと思い、悩みもしました。その結果、解散するのではなく、活動

休止ということで町長さんと教育長さんにお預けしてきたのです。「私には、婦人会をまとめるだけの力がありません。でも、適任な人材や、みんなの気持ちが集まるとききたら、いつでもまた婦人会を動かしてください」と。

……まったく活動を行わないという選択もあったと思いますが？
私は、地域に根付いたしっかりしたボランティア組織が欲しいと思っていたので、日赤地域奉仕団を結成しようと思ったのです。その考えは正しかったと今でも思っています。それにね、日赤地域奉仕団三重県支部の担当の方にも「宇留田さんと一緒に活動したいから、ぜひ」と言っていたのでした(笑)。

……メンバーから、苦情が出ることも無くなりましたか？

自主的に集まってくれたメンバーですからね。それに、主なメンバーは仕事を定年退職された方たちなので、「遊んでいては時間ももたないから」と言ってくれています。メンバーの総数は37人ですけど、主力メンバーは10数人かな(苦笑)。でも、少数精鋭で、動きやすくいいかなと思っています。

……日赤地域奉仕団は三重県内で嬉野町だけなのですか？

今年3月に三重県内の婦人会がすべて無くなり、日赤地域奉仕団に代わりましたので、県内では20グループくらいが活動しています。

……嬉野町は活動を開始するのが早かったのですか？

三重県では一番最初に結成しました。その他は四日市、津……。私も活動を広げるお手伝いをさせていただきました。

……どうやって広げたのですか？

婦人会の会長を長くさせていただいたこともあり、各地の婦人会長さんと顔なじみでしたから、その方たちに「一緒にやりましょうよ」と声をかけました。まったく知らない人に言われるよりも、顔なじみの私から言われた方が、みなさんも心やすかったのだと思います。

環境への想いを、独自の活動に繋げて

……日赤地域奉仕団やまゆり会では、具体的にどんな活動をしているのですか？

日赤地域奉仕団自体の目的は、赤十字思想の普及や、災害救護、救急法・水上安全法・家庭看護法等の普及、献血推進など赤十字事業の推進にあたり、地域の状況に応じて老人福祉及び障害者福祉など幅広い活動を展開することにあります。災害ボランティアという面もありますから、一番最初に炊き出し用の大きなお釜とテント、団旗をいただきます。これをいただく、「頑張って、やっていかなきゃ」という気分になりますよ。

……実際に炊き出しを行ったことはありますか？

防災訓練や消防署の訓練時にお手伝いとして行うほか、イベント時にご飯を炊いたり、豚汁などをふるまったりしています。防災ボランティアとしては、平成16年9月に台風によって大きな被害を受けた海山町に、会員6人がボランティアとして行って来ました。新潟県にも行って欲しいという話も受けています。あと、地域のリーダーの方たちに集まっていただいて、救急法の講座なども行いました。

……その他の活動は？

日赤が行っているイベント「赤十字の集い」には必ず参加していますし、あちこちで献血の呼びかけなどもしました。

日赤地域奉仕団やまゆり会

宇留田敬子 さんに 聞く





「歳月人を待たず」と「和」。 この二つの言葉が私のポリシー

御浜町で志原川的环境を守る活動をしている「あつまらい」と交流を行いました。写真は志原川を舟で下っているところです。

……日赤地域奉仕団やまゆり会独自の活動などがありますか？
会をたくさんの人に知ってもらいたいという思いと、メンバーが楽しめるようなことがしたいと思って町内を通っている県道沿いにカナナの花を植えました。この他、毎月第二土曜日の午後2時から、「人と人をつなぐ環境交流会」というイベントを開催しています。

……内容は？

平成16年のテーマを例にするなら「ゴミをリサイクルについて考える講演会」や「竹炭窯出&草木染め」、「やまゆり見学会」などを行いました。竹炭の時の講師は、平成16年11月号に登場された渡邊幸宏さんですよ。平成15年5月から始めて、1年半以上続けています。

……環境分野というのは日赤地域奉仕団の目的からは離れているように感じますが、なぜ取り組もうと思ったのでしょうか？

私自身、昔から環境問題に興味があったのです。平成10年2月に三重県が開催した女性議会にも参加し、その参加者の中から選ばれてドイツへ環境問題の研修旅行にも出かけました。ドイツで環境に関する取り組みを見て、これはぜひ三重県に根ざさないとはいけません。そんな想いもあって、三重県環境学習情報センターが開催している環境学習指導者養成講座の第一期を受講し、ここで学んだことを他の方にも伝えたいと思ったのです。

……伝えるといえば、会の後継者を育てることも大切ですが？

今、徐々に若い方たちに譲りかけています。倒れるまでやっていては人から笑われてしまいます。私は70歳になったら退くと、みんなにも言っています。「もし、代わってくれる人がいなかったら、解散するから」として(笑)。活動を継続させるためには、若い人に頑張ってもらわないといけませんからね。幹部研修会などにも、一緒に参加してもらっていますよ。



「人と人をつなぐ環境交流会」では自然観察も行います。この時は、平成16年11月号に登場した渡邊さんの吉兆窯を会場にして行いました。

……活動の方針はありますか？

日赤地域奉仕団やまゆり会には5つの誓いがあります。

- 1、自然に親しむ
- 1、景観を大切に
- 1、歴史を知る
- 1、人に優しく、連携して
- 1、良いと思ったら実行

私自身の方針は、とにかく楽しくすること。人に集まってもらうには楽しいのが一番。あと、みんなが同じレベルにいないといけませんね。誰かを押しついたり、一段上がったりは絶対にダメ。

……熱心に活動すればするほど、お忙しいと思いますが？

「歳月人を待たず」と「和」。この二つの言葉が私のポリシーですから(笑)。

……宇留田さんを見ていると「パワフルだなあ」と感心します。

私、46歳になるまで自動車の免許を持っていなかったのです。会議に参加する時などは、別の方に乗せてもらっていたのですが、一度、事故に巻き込まれて、車いす生活になるかもしれないと言われたのですが、なんとか3カ月で退院できました。この時に、「これはダメだ。免許を取らない」と思って、頑張ったんです。試験場には若い子がたくさんいてね、「あのおばさんは落ちるぞ」と話しているのが聞こえました(笑)。だから一度で合格したのは本当に嬉しかったですよ。すぐに夫の車を借りて、一人で実家まで行きました。実家の兄には「免許取り立てで、一人で来るなんて危い！」って怒られましたけど(苦笑)。

日赤地域奉仕団やまゆり会

住所/515-2311 一志郡嬉野町黒田212

Tel.0598-42-2703

宇留田敬子さんはこの人を**紹介**します。

速水 亨さん

「林業家という立場から、環境について、NPO活動についてお話いただけたと思いますよ」と宇留田さん。環境問題について活動するなかで、知り合われたそうです。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。